

日本政策金融公庫農林水産事業からのお知らせ ーその③⑦ー

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

TOPIC

長期運転資金の必要性について

農業経営の維持、発展には運転資金は不可欠です。以下では主に運転資金の種類について解説します。

運転資金の分類

<経常運転資金等が長期になる理由>

- ・経常運転資金や増加運転資金は、主に入金と支払のサイト差から発生します。これらの一つ一つは短期の資金需要ですが、全体としてみれば、常に一定程度の残高が発生します。
- ・このとき資金は固定化された状態となり、営業活動を継続する限り、回収できない状態が続くため、長期の運転資金として分類されます。

<運転資金の返済財源>

- ・借入金の返済財源について考えた場合、設備資金の返済財源は利益+減価償却費ですが、運転資金の返済財源は利益のみです。
- ・つまり、運転資金の返済財源を捻出するためには、その分、利益を確保する必要があるため、余裕を持った返済計画が必要です。

<ワンポイント>

- ・農業には他産業と違う特性があります。その一つが「費用等の出費から売上が入金するまでの期間が長い」という点です。
- ・以下の例のとおり、出費の種類によって計上する科目は様々ですが、売上入金までの期間に合わせて運転資金を調達することが大切です。

例) 酪農:初妊牛(「固定資産」に計上)導入後、約3～5年搾乳
 採卵鶏:雛(主に「経費」に計上)導入後、約400日採卵
 肉牛肥育:素牛(「棚卸資産」に計上)を約16～20ヵ月肥育後、出荷

- ・もう一つの特性は「台風や天候不順、家畜の感染症などの予期せぬ災害に遭遇すること多い」という点です。
- ・このような予期せぬ災害や突然の機械トラブルなどに対処するためには、手持ちの現預金をある程度確保しておくことも大切です。

⇒経営を安定させるために長期運転資金をうまく調達することが有効です。

※詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。

⇒ http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地:〒730-0031 広島市中区紙屋町 1-2-22 広島トランヴェールビルディング 6階
 TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(毎月第1、第3水曜日、9月は5日と19日)	場所:三次農業協同組合本店
庄原相談窓口(毎月第1、第3木曜日、9月は6日と20日)	場所:庄原農業協同組合本店
福山相談窓口(毎月第2金曜日、9月は14日)	場所:日本政策金融公庫福山支店

※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。